

職員による自己評価

A環境面

- ・ドアノブの交換、おもちゃの修理など環境整備に努めている。
- ・一部、閉まりにくいドアノブがあるため修理が必要。

B児童への支援内容

- ・支援計画に沿った療育が行われている。
- ・季節ごとのイベントを企画し、行っている。
- ・ケア前ミーティングで支援内容の確認をしている。

C関係機関との連携

- ・家庭や他機関との連携をとっており、必要に応じてご家族に社会資源の提案を行っている。
- ・他事業所の要請に応じて情報提供をしている。

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・面談を行った際に家庭での困り事に沿ったアドバイスや支援の提供をしている。
- ・連絡帳や送迎時に引継ぎをして情報共有している。
- ・お便りを発行し、活動写真の掲載や社内研修の様子を発信している。

E非常対応

- ・月に一度の避難訓練、社内研修をしている。
- ・ヒヤリハットの共有を行い、再発防止に努めている。頻出している課題についてはミーティングを行い、支援方法の見直しをしている。

保護者による評価

A環境面

- ・詳細にみる機会が少ない

B児童への支援内容

- ・楽しんでいるプログラムは継続してほしい。
- ・長期休み中の外出プログラムを楽しみにしている。
- ・他学年、他学校の利用者との交流がよい刺激になっている。
- ・地域にある児童館等に行く機会は少ない。
- ・他事業所等との交流は特に希望していない。

C事業所からの情報発信

- ・保護者会等の参加は希望していない。

D非常対応

- ・非常時のマニュアルがどのようになっているかわからない。

事業所内での分析

【共通点】

- ・支援計画やケアの内容について十分な説明が行えている。
- ・季節事のイベントや長期休みのプログラムを企画し、提供できている。

【相違点】

- ・環境面での改善や工夫点の情報発信の機会が少なく、保護者との共通の理解となっていない所がある。
- ・個別で情報共有はされているが、ホームページや広報等での全体へ向けた情報発信の機会が少なく、社内での取り組みについての不透明さがある。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・連絡帳や送迎時の引継ぎで支援の内容や過ごし様子の共有ができています。
- ・長期休みや季節のイベントに合わせたプログラムを発案し、提供できています。
- ・ケア前にミーティングを行い、活動の充実化を計っている。

事業所の改善点

- ・事業所外での活動の機会を増やしていきたい。
- ・保護者同士の交流の機会のニーズを再確認する。
- ・引き続き、他機関との連携のやり取りの記録を行い、適宜職員間での共有を行う。
- ・職員のスキルアップや支援統一と関る研修や振り返りの時間を増やしていきたい。

事業所の改善への取り組み

- ・改めて活用できる地域の社会資源がどのようなものがあるか確認していく。
- ・保護者会等のニーズの再アセスメントを検討していく。
- ・他機関等とのやり取りの記録作成の目的を職員間に周知し、記録の取り扱いについて共有を行う。
- ・職員との定期的な面談を行い、課題と目標を明確化し、職員がスキルアップしやすい体制を整えていく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

保護者様から直接評価とご意見をいただき、合わせて職員の評価と照らし合わせることで事業所のケア内容及び運営方法について見直すよい機会になった。感染症等での社会状況も落ち着き、事業所外での活動機会も増えてきているため、今後も社会状況を鑑みながら魅力あるイベントや外出機会を考案していきたい。また、アンケートの結果をもとに、事業所の強みを生かしながらご本人やご家族のニーズに沿った支援を提供していきたい。

事業所名 児童デイサービスコンブリオ

担当者 堂山紗耶佳